

平成 22 年度第 2 回安曇野市介護保険等運営協議会

- 1 審議会名 平成 22 年度第 2 回安曇野市介護保険等運営協議会
- 2 日 時 平成 22 年 11 月 25 日 午後 1 時 から午後 2 時 40 分まで
- 3 会 場 穂高総合支所 第 3 会議室
- 4 出席者 須澤運営協議会会長、丸山好夫運営協議会副会長、松井委員、山田委員、石田委員、伊佐津委員、前島委員、丸山三恵子委員、有賀委員、高山委員、細川委員
- 5 市側出席者 務台健康福祉部長、小川高齢者介護課長、保高介護保険係長、曾根原高齢者福祉係長、宮下介護予防係長、西澤主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 22 年 12 月 3 日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

進 行 (小川高齢者介護課長)

- (1) 開 会 (丸山副会長)
- (2) あいさつ (須澤会長、務台部長)
- (3) 会議事項 (進行及び座長 須澤会長)

①老人福祉計画の実施状況について **資料 1** (事務局説明 曾根原高齢者福祉係長)

計画に対する 21・22 年度の実績について下記の内容の説明が行われた。

- ・高齢者の自立した生活を支援するサービスの提供
- ・高齢者の居住・生活環境の整備
- ・高齢者の生きがいくくり・社会参加の支援
- ・地域支援事業

須澤会長

資料 1 についてご質問は。無いようでしたら私のほうから、5 ページの地域支援事業の特定高齢者の把握事業で、平成 21 年度の 590 人と平成 22 年度の 583 人は被っているんですよね。同じ人が入っているんですよね。

曾根原係長

はい、入っております。

須澤会長

ではそれについて、把握に努めているとの事ですが、特定検診を受けられた方については、把握できると思われるのですが、介護認定などで自立になられた方について把握は無いと思われます。又他の関係機関と連携し、把握に努めますとは具体的にどういった内容でしょうか。

曾根原係長

民生委員さん、地域包括支援センター、ケアマネ (民間) さんより情報を集めたり、提供していただいたりして把握に努めています。

須澤会長

わかりました。他にどなたかありますか。

※他なし

②介護保険及び介護保険事業計画の実施状況について **資料 2** (事務局説明 保高介護保険係長)

計画に対する 21・22 年度の実績について下記の内容の説明が行われた。

- ・安曇野市の高齢化の状況
- ・前期後期高齢者の割合
- ・要介護認定者数
- ・介護保険料
- ・介護保険給付額の推移
- ・介護保険給付の推移
- ・介護保険事業計画の実施状況

協 議 事 項 等

須澤会長

以上資料2について、質問意見がございましたらお願いいたします。特に無い様でしたら、7ページの施設整備計画ですが、これは、現在事業をしたいと申し込まれている事業者がこれだけいるということで、こちらから、こういったのを（施設）して（開設して）欲しいともちかけていることはないのでしょうか。

保高係長

第4期介護保険事業計画を作るにあたりまして、以前より事業者さんのほうからこういう施設整備をしたいといった要望がございまして、それをそのまま受け入れるわけにはいきませんので、需要等に基づきまして、どのような施設をどこに整備するかを計画し、計画と合致した事業者さんなどと打ち合わせて開設いただいております。

須澤会長

現在開設希望事業者さんは多いのですか。

保高係長

かなりな数の相談があります。

須澤会長

他に意見がございしますか。

松井委員

24時間訪問介護とか認知症対応型の施設があまり進んでいないことで、これから団塊の世代の高齢化が進み、認知症者がかなり増えており、23日の信濃毎日新聞に載っていましたが、24時間訪問介護が不安とのこと。国の方で地域巡回サービスの導入方針ということで発表されているようだが、長野県内でのサービス水準の低さについて、メディアから指摘されていたようです。安曇野市としては今後どういった計画でしょうか。

保高係長

認知症の増加も予想されて、整備を進めていかなければならないと考えていますが、24時間訪問介護につきましては参入していただけるかの問題があり、これから検討していかなければならないと考えています。

③地域包括支援センター業務実績（概要）について **資料3**（事務局説明 宮下介護予防係長）

計画に対する21・22年度の実績について下記の内容の説明が行われた

- ・介護予防ケアマネジメント事業
- ・特定高齢者事業実績
- ・総合相談・支援事業
- ・権利擁護事業

須澤会長

以上資料3について、質問意見ございましたらお願いいたします。

松井委員

4ページの成年後見の70件の内訳はどのようになっていますか。

宮下係長

市の包括では相談を受け、次の対応先につなげる業務を行っているため、相談件数はカウントしておりますが、つなげた後の顛末の内訳については数えておりません。

松井委員

実務の振り分けについては実務者協議会が行っているのですか。

宮下係長

職員（社会福祉士）と司法書士の先生が相談をして振り分けを行っています。

松井委員

安曇野市は市町村長申し立てが少ないので、もう少しその辺について考慮して欲しいです。

協 議 事 項 等

④高齢者等実態調査について 資料4・5・県5・県6-1・県6-2・県7 (事務局説明 西澤)

高齢者実態調査は第5期の介護保険計画を算出するための基礎資料であり、11月18日に開催された県主催の会議で発表になった調査項目や日程を中心に説明がなされた。また平成19年に行われた前回の調査では安曇野市独自の質問項目を追加して独自の調査を行ったが今回は市独自の調査を行うかまた行うとしたらどのような内容にするかについて、協議会でご検討いただくよう事務局より提案された。

議論にあたっては、事前に委員の皆さまからご記入をいただいた資料をもとに進められた。

須澤会長

初めに居宅要介護・要支援認定者等調査票から検討いたしましょう。大体は、前回の調査した項目について聞いてみれば、役に立つのではといったご意見だと思いますがいかがでしょうか。有賀委員さんと、山田委員さんは、県の調査項目どおりでよいとのことですが、有賀委員さんいかがですか。

有賀委員

私の父が調査対象だったときに、父はあまり答えず、私が、良いのかと思いながら半信半疑で答えた経験があり、適切な質問で項目数を少なくした方が、対象者も答えやすいのではと考えました。

須澤会長

山田委員さんはいかがですか。

山田委員

私は、実際に調査票を記入してみた中で、県調査票で十分ではないかと考えました。

須澤会長

細川委員さんは、いろいろと調査について記載をされていますがいかがですか。

細川委員

調査項目は、県のもので問題はないと思われませんが、前回「虐待」について質問をしているので、今回その内容がどれだけ市内に啓蒙されているか検証する意味で前回の項目について調査をし、比較してみてもどうかと考えております。

須澤会長

高山委員さんもそのままではと記入されているようですが。

高山委員

県の調査票は非常に細かく調査がされており、他の項目については必要ないかと考えたが、前回の項目の施設利用料の調査など、興味深い内容もあり、前回のとおりの項目を質問してみてもよいのではと考えています。

須澤会長

いろいろな、ご意見をいただきましたが、前回の市独自の調査項目については調査するような内容でまとまってきているようです。ところで市としては、前回の項目については、調査をするといった考えでよろしいのでしょうか。

西澤

はい、そのようには考えておりますが、今回は前回の調査にましていただいぶ調査項目が増えていることから、調査をうけていただく方に負担がかかるのではと心配しております。

須澤会長

そうですか、皆さんの意見は前回の内容で聞いてみるということでもとまってはきていますが、内容も聞いて悪いことではないですし。

山田委員

設問を精査してダブっている項目などは省略するような形で作ればよいのではないかと。

須澤会長

そのような形で、事務局よろしいですか。

西澤

そのように対応します。

須澤会長

では、この調査については、そのようにします。

協 議 事 項 等

須澤会長

続きまして元気高齢者の調査について資料をご確認ください。こちらについても、概ね先ほどと同様な意見が多いので、同じような形でよろしいでしょうか。事務局はいかがですか。

西澤

先ほどと同様前回項目が多いので、もし被る項目があれば省略させていただき、できるだけ調査票をご記入いただく方に負担がかからないように配慮したいと考えます。そういった内容でご承認いただけますでしょうか。

須澤会長

よろしいでしょうか。

※委員全員よりご承認いただいた。

須澤会長

協議を終了いたします。

(4) 閉会 (丸山副会長)

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。